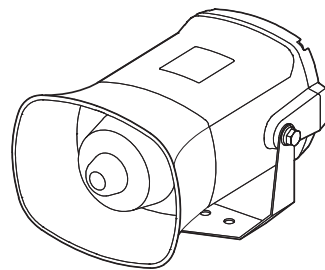


多機能自立型電子シグナルホーン

SMP35/ SMP50



Qlightの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

設置および操作の前に取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また本書は大切に保管してください。

⚠ 安全上のご注意

次の事項を必ず守らなければ死亡や深刻な重傷を負う可能性が想定されます。

1. 配線やメンテナンス時には製品の電源を完全に切ってください。(感電の恐れがあります)
2. 各製品に記載されているIP保護等級で指定された条件以外の過度の埃や水がかかる場所には設置しないでください。(これらの指示に従わないと、製品に火災、感電、けが、誤動作、製品の損傷を引き起こす可能性があります)
3. 本製品を改造または修理しないでください。メンテナンスまたは修理サービスが必要な場合は、Qlightのお問い合わせ窓口にお問い合わせください。(これらを指示に従わないと、火災、感電、製品の破損につながる可能性があります)
4. 製品に正しい電圧を印加してください。(これらの指示に従わないと、火災、感電、または製品の損傷を招く可能性があります)
5. 人命や財産に影響を与える可能性のある状態で使用する場合は、二重の安全装置を備えていることを確認してください。(これを守らないと、物的損害、火災、感電、人身事故の原因となります)

⚠ 正しく取り扱いいただくためのご注意

指示事項を守らなければ使用者が重傷を負うことや物的損害を負うことがあります。

1. 製品周囲の通気を妨げる可能性のある物を取り除いてください。(発熱により、製品が破損や変形の恐れがあります)
2. 正常に動作しない場合は、ただちに電源を切ってください。(火事や感電、製品破損の恐れがあります)
3. 各製品の仕様に従って製品の使用電圧を間違えないよう慎重に配線します。(誤動作、破損の恐れがあります)
4. シンナー、ベンゼンなどの薬品が製品の表面に触れないように注意してください。(製品が壊れたり変色、変形する恐れがあります)
5. 製品に過度の力や衝撃を加えないでください。(故障や破損の恐れがあります)

製品構成

SMP50	-	12/24	-	LC	-	INSD
[型式]		[電圧]		[音色設定]		[SDカード装着]
↓		↓		↓		↓
・SMP35 ・SMP50		・12/24-DC12V~24V ・110/220-AC110V~220V		・(無指定)-内部スイッチ選択 ・LC指定-外部接点の選択		・(無指定)-SD未装着型 ・INSD-SD装着型

製品規格

型式	電圧	電流	内蔵音と音量	認証	重量	
SMP35	DC12~24V	Max.760mA	・Bit Input: 5Ch ・Binary Input: 30Ch ・内装音: Max.115dB (WA-Ch4基準) ・MP3音源: Max.113dB	CE	0.76kg	
	AC110V~220V	Max.200mA			1.03kg	
SMP50	DC12~24V	Max.2.85A			・Bit Input: 5Ch ・Binary Input: 30Ch ・内装音: Max.123dB(Ch6基準) ・MP3音源: Max.120dB	0.95kg
	AC110V~220V	Max.720mA				1.23kg

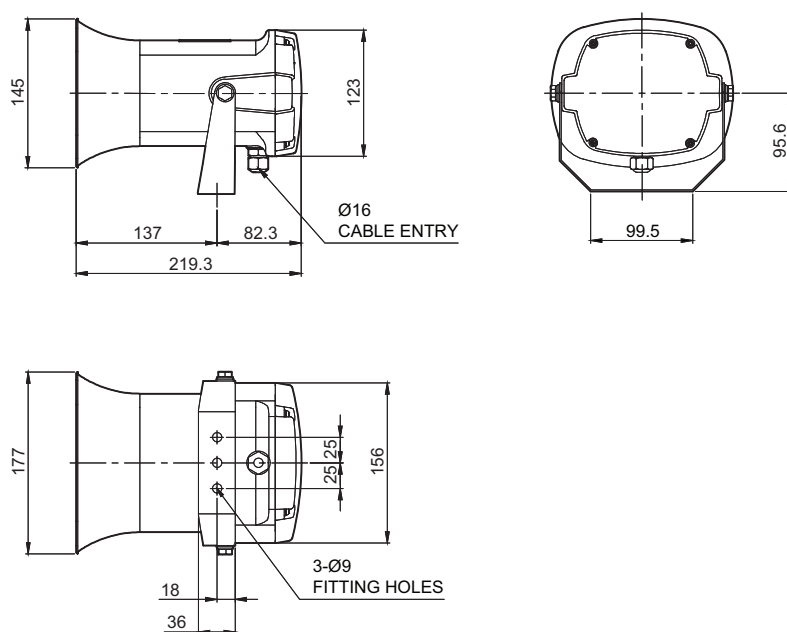
- ・保護等級: IP65
- ・使用温度: -25°C ~ +50°C



こちらのQRコードをスキャンすると
詳細な製品情報がみられます。

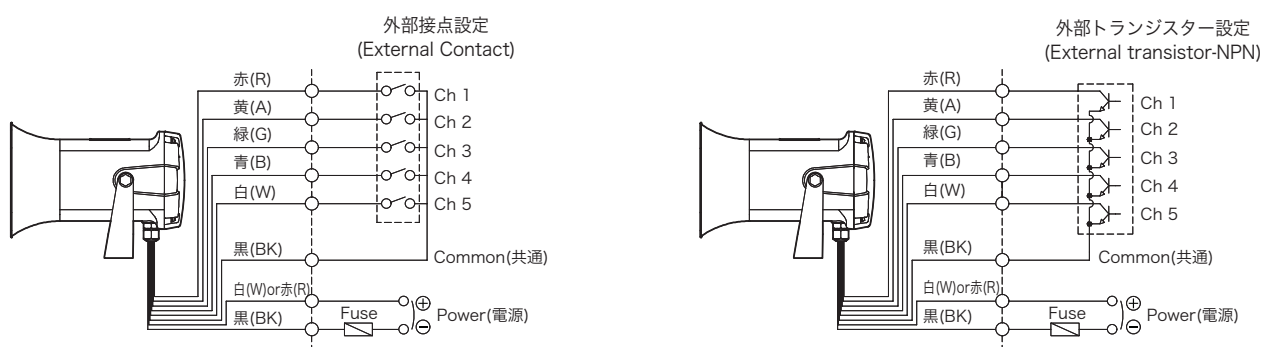
www.qlight.com

SMP35/ SMP50



結線図

SMP35/ SMP50-DC/AC

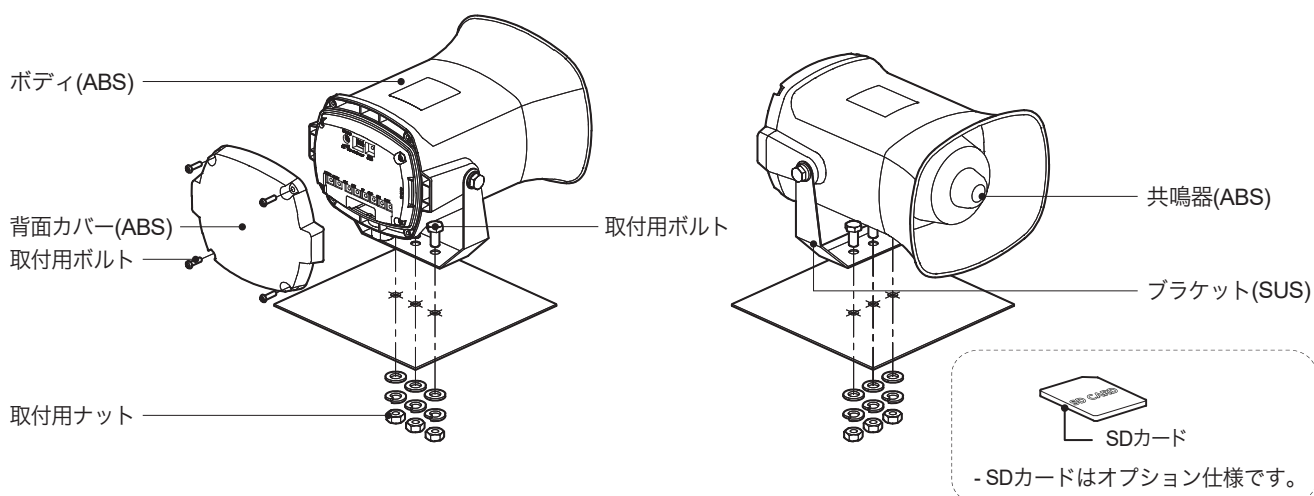


- 標準仕様－内部スイッチ設定
- 外部設定又はトランジスター方式であればオプション仕様の音色選択が可能です。
- DCタイプの場合、黒線の極性はマイナス(－)です。
- 電源線規格 - UL1015 AWG18(0.75sq) x 2C 400mm
- 信号線規格 - UL1007 AWG22(0.3sq) 400mm
- チャンネル選択はビットの入力設定5音選択再生、バイナリー入力設定30音を選択再生することができます。

製品構成/ 取付方法

■ 製品構成

SMP35/ SMP50

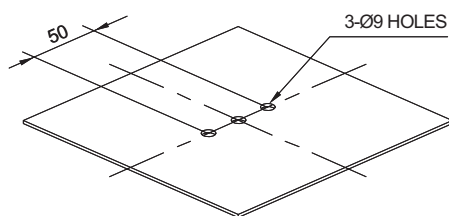


■ 取付方法

- 製品を取付する位置に取付穴を加工してください。
- 本製品の取付穴は、直径9mmです。
- 直接取付けの場合は、取付ボルトを取り付け穴に通して固定します。
- 取付穴を加工したらボルトを製品に貫通して加工穴に取付けた後、反対側でナットを締結してください。
- 振動や衝撃の多い場所では、フラットワッシャーとスプリングワッシャーを追加して設置してください。

取付け穴規格

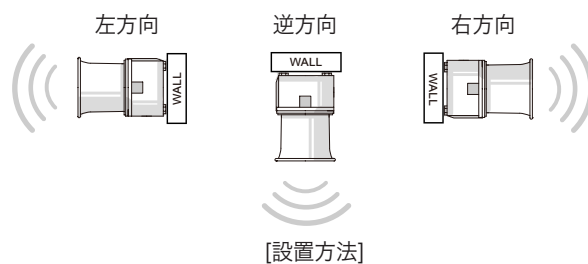
- 製品を取付する位置に取付穴を加工してください。下記に取付け穴の規格です。



SMP35/ SMP50

設置時の注意事項

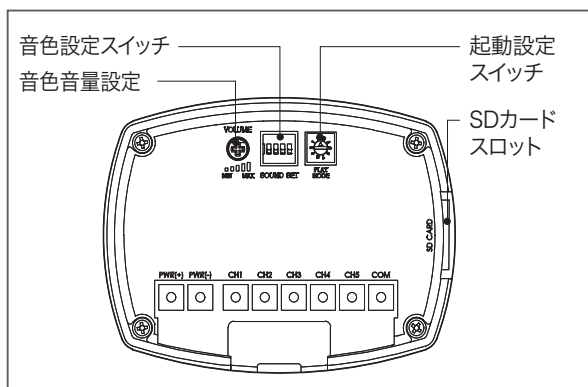
- 屋外設置は水平設置をしてください。雨水や水分が直接流入する環境では逆さまに設置しないでください。



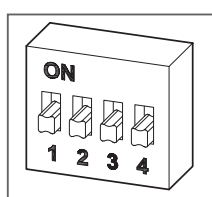
設置環境と保護等級

- 本製品は保護等級IP65構造で設計されています。
- 規定の保護等級の許容範囲を超える埃や水分が浸透した場合、故障する恐れがありますので、規定保護レベルを満足する環境でご使用ください。
- 詳細については、当社のウェブサイトwww.qlight.comをご覧ください。

背面制御部構成



音色タイプ設定



- 音色設定スイッチ操作により、用度に応じた音色タイプ選択が可能です。
- スイッチ番号の切り替え設定にご注意ください。
- スイッチ1番: 内蔵音と外付け音源の設定
- スイッチ2、3、4番: 内蔵音グループ設定

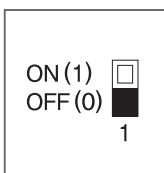
■ 内蔵音色グループ設定

- 内蔵音の選択設定
- 6種類の音色グループからグループ一つ設定可能
- グループごと5音出力します。

ビットタイプのサウンドグループの選択方法

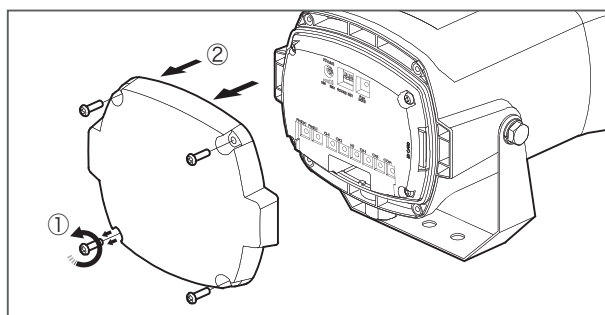
No.	ON(1) OFF(0)			音源
	2	3	4	
1	0	0	1	警告音5音
2	0	1	0	特殊警告音1グループ5音
3	0	1	1	メロディー5音
4	1	0	0	アラム5音
5	1	0	1	特殊警告音2グループ5音
6	1	1	0	特殊警告音3グループ5音

■ 機器内蔵音源と外付け(SDカード)音源の使用選択



- 機器内蔵音源を使用する場合、音色設定スイッチ1番をOFF(0)位置に設定します。
- SDカードの外付け音源を再生する場合、SDカードを挿入してから音色選択スイッチ1番をON(1)に設定します。

背面操作部カバー分離

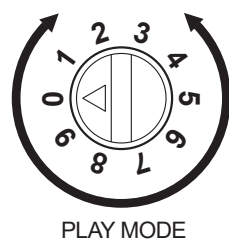


- ① 製品背面の固定用ボルト(M4)を外します。
- ② 背面力カバーを軽く引っ張って外します。(無理に背面力カバーを引っ張ると破損する恐れがありますのでご注意ください)

プレイモード設定

- チャンネル入力方式(ビット/バイナリー)と多様再生モードを選択します。
- マイナスドライバーを使用して設定スイッチを回転させます(回転方法は左右どちらでも使用可能)
- 0番と9番スイッチは使用しません。

プレイモード設定スイッチ



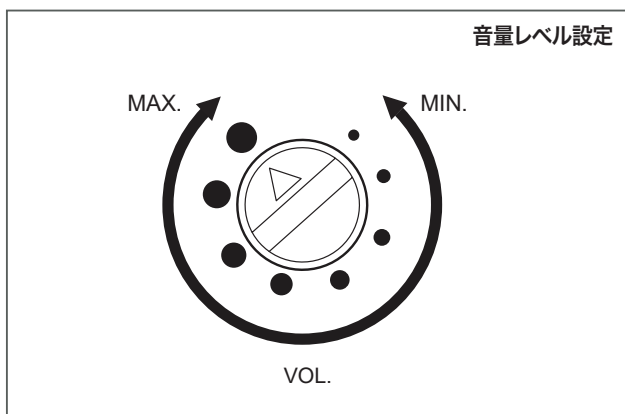
回転方法は左右
どちらでも使用可能

プレイモード (PLAY MODE)

プレイモード (PLAY MODE)		
1	ビット入力1回再生モード Bit Input Mode	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵音源又は外付け5音の中、1音を1回再生して終了 • 内蔵音源1回再生時間は約10秒
2	バイナリ入力1回再生モード Binary Input Mode	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵音源又は外付け30音中、1音を1回再生して終了 • 内蔵音源1回再生時間は約10秒
3	ビット入力連続再生モード Bit Input Hold Playback Mode	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵音源又は外付け5音の中、1音を連続再生して終了
4	バイナリ入力連続再生モード Binary Input Hold Playback Mode	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵音源又は外付け30音の中、1音を連続再生して終了
5	ビット入力音量減少モード Bit Input Sound Reduction Mode	<ul style="list-style-type: none"> • 選択チャンネル音量を15dB減少 • 内蔵音源又は外付け5音の中、1音を連続再生して終了
6	バイナリ入力音量減少モード Binary Input Sound Reduction Mode	<ul style="list-style-type: none"> • 選択チャンネル音量を15dB減少 • 内蔵音源又は外付け30音の中、1音を連続再生して終了
7	ビット入力順記憶再生モード Bit Input Sequence Memory Playback Mode	<ul style="list-style-type: none"> • チャンネル入力後3秒以内連続チャンネル信号を記憶し順次再生。(再生時間は3秒~5秒) • 最後入力チャンネルは連続再生。(ビット入力専用)
8	試験モード Test Mode	<ul style="list-style-type: none"> • テストモードで内蔵と外付け音源のCh1音源が自動繰り返し再生 • テストモードを終了するには他モードに転換する

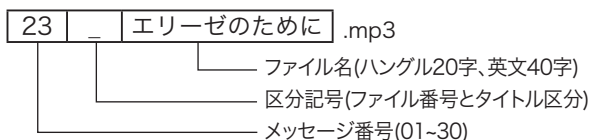
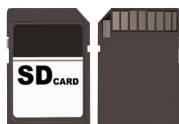
音量調節

- 製品の出力音量を調節します。
- 音量調節VOLUMEをCWの方向に回すと音量が増加して、CCWの方向に回すと音量が減少します。
- 「MIN.」では信号音が出力しません。



SDカード選定と音源ファイルの保存

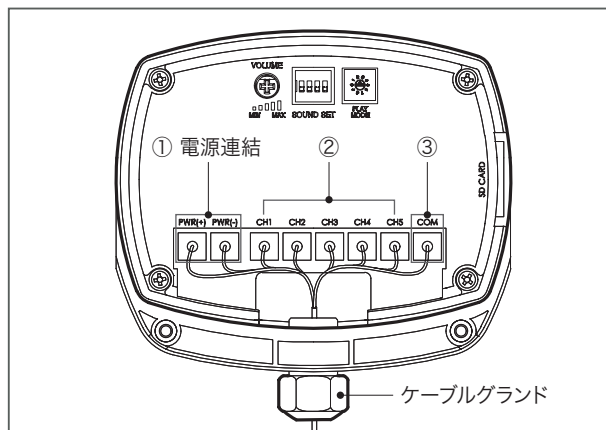
- SDカード規格
 - 一般SDカードを基本仕様として利用します。
 - ミニSDとMicro SDは別のアダプタをご使用ください。
 - SD(FAT16), SDHC(FAT32)
 - ストレージ容量 : Max.32Gbyte
 - Speed Classes : C2, C4, C6, C10, U1, V6, V10
- 下記、SDカードにMP3音源ファイルを保存する方法です。
- SDカードに「MP3_FILE」フォルダを作成して、下記ファイル様式でMP3ファイルを保存します。
- MP3ファイルの保存規格



- ファイル保存の際、ファイル名の順番に保存してください。
- 使用前にフォーマットする必要があります。
- ファイル名は最大20文字までとなります。

- [例]
- 01_火災警告音.mp3
 - 02_緊急警告音.mp3
 - 03_エリーゼのために.mp3
 - ...
 - 30_かつこうワルツ.mp3

背面端子台動作方法



- ① 電源供給端子台です
- ② 信号音チャンネル選択端子です。外部の接点とトランジスター (NPN) で信号音を選択できます。
- ③ COM端子はチャンネル選択の際に使用、結線方法はPage 2の結線図をご参考ください。

※ ケーブル使用可能範囲 : AWG18~AWG26

背面端子台を利用するビット / バイナリー入力方式

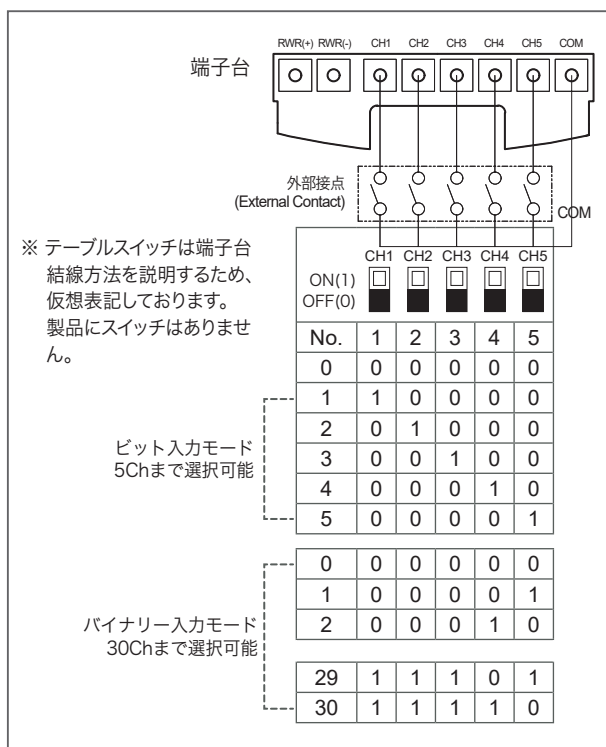
■ ビット入力方式

- 引出線を利用するビット入力方式は5種類チャンネル(Ch1~Ch5)から1種類チャンネルを選択使用します。
- 選択可能チャンネル数は5種類

■ バイナリー入力方式

- 引出線を利用するバイナリー入力方式は5種類チャンネル(Ch1~Ch5)を利用して多重入力が可能であり、30個チャンネルから1種類チャンネルを選択使用します。
- 選択可能なチャンネル数は30種類です。

■ 端子台結線は外部接点とトランジスタで可能であり、入力方式とバイナリー入力方式でチャンネルを選択します。



音色タイプと組み合わせ

■ ビット入力-内蔵音源使用

- ・ビット入力方式の場合、選択音源グループ5音から1音を選択して再生します。
- ・本製品は端子台を利用して音源を選択します。
詳細はPage 5「背面端子台を利用するビット/バイナリー入力方式」をご参考ください。
- ・音源選択方法は以下テーブルをご参考ください。

ビット入力方式音源グループ構成						
No.	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	音色設定 (6グループ中で WSグループを選択)
	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	
0	0	0	0	0	0	無音
1	1	0	0	0	0	ウー火災警告音(560Hz-1.5kHz)
2	0	1	0	0	0	ウーウー緊急音 (600Hz~1.5kHz)
3	0	0	1	0	0	ピーポーピーポー救急音 (450Hz~900Hz)
4	0	0	0	1	0	ピーッピーッ音(820Hz)
5	0	0	0	0	1	フォームリリースアラーム(1kHz)

※ テーブルスイッチは端子台結線方法を説明するため、仮想表記しております。製品にスイッチはありません。

■ グループごと音色種類

ビット入力方式音源チャンネルの設定			
グループ	チャンネル	音源	
WS	警告音 5音	Ch1	ウー！ウー！ 火災音 (560Hz-1.5kHz)
		Ch2	ウーウー 緊急音 (600Hz-1.5kHz)
		Ch3	ピーポーピーポー 救急 (450Hz-900Hz)
		Ch4	ピーピー音 (820Hz)
		Ch5	フォームリリースアラーム (1kHz)
WP	特殊警告音 5音	Ch1	ウー 火災音 (560Hz-1.5kHz)
		Ch2	ピーッ音 (820Hz)
		Ch3	ピーピー音 (820Hz)
		Ch4	フォームリリースアラーム (1kHz)
		Ch5	一般アラーム (1kHz)
WM	メロディ 5音	Ch1	ホームスイートホーム
		Ch2	エリーゼのために
		Ch3	かっこうワルツ
		Ch4	ピアノソナタ
		Ch5	トルコ行進曲
WA	アラーム 5音	Ch1	電鈴音(トゥルル音)
		Ch2	ピンポン音
		Ch3	電話ベル(リーン音)
		Ch4	ビビビビ音
		Ch5	リンリン音
WO	特殊警告音 2グループ 5音	Ch1	ルルルル 連続音 (730Hz-920Hz)
		Ch2	ピーポーピーポー ゆっくりの救急音 (820Hz-1.05kHz)
		Ch3	ウーウー 緊急音 (770Hz-1.2kHz)
		Ch4	ルルルル 電話音 (740Hz-910Hz)
		Ch5	ウー！ウー！ 消防音 (770Hz-1.11kHz)
WN	特殊警告音 3グループ 5音	Ch1	ピーッピーッ 警告音(500Hz-1.11kHz)
		Ch2	ピッピッ 警告音 (940Hz-2.19kHz)
		Ch3	ブーブー ゆっくりの後音強調 (680Hz-840Hz)
		Ch4	ウワンウワン 警告音 (420Hz-470Hz)
		Ch5	連続増加音 (150Hz-1kHz)

■ バイナリー入力-内蔵音源使用

- ・バイナリー入力方式は30音から1音を選択再生します。
- ・本製品は端子台を利用して音源を選択します。
- ・詳細はPage 5「背面端子台を利用するビット/バイナリー入力方式」をご参考ください。
- ・音源選択方法は以下テーブルをご参考ください。

バイナリー入力方式音源チャンネルの設定						
No.	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	音源
	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	
0	0	0	0	0	0	出力音なし
1	0	0	0	0	1	ウー！ウー！ 火災音 (560Hz~1.5kHz)
2	0	0	0	1	0	ウーウー 緊急音(600Hz~1.5kHz)
3	0	0	0	1	1	ピーポーピーポー 救急音 (450Hz~900Hz)
4	0	0	1	0	0	ピーッ音 (800Hz)
5	0	0	1	0	1	ピーピー音 (820Hz)
6	0	0	1	1	0	フォームリリースアラーム (1kHz)
7	0	0	1	1	1	一般アラーム (1kHz)
8	0	1	0	0	0	ホームスイートホーム
9	0	1	0	0	1	エリーゼのために
10	0	1	0	1	0	かっこうワルツ
11	0	1	0	1	1	ピアノソナタ
12	0	1	1	0	0	トルコ行進曲
13	0	1	1	0	1	魔笛
14	0	1	1	1	0	パディネリ
15	0	1	1	1	1	パイン・アップル・ラグ
16	1	0	0	0	0	電鈴音(トゥルル音)
17	1	0	0	0	1	ピンポン音
18	1	0	0	1	0	電話ベル(リーン音)
19	1	0	0	1	1	ビビビビ音
20	1	0	1	0	0	リンリン音
21	1	0	1	0	1	ルルルル 連続音 (730Hz-920Hz)
22	1	0	1	1	0	ピーポーピーポー ゆっくりの救急音 (820Hz-1.05kHz)
23	1	0	1	1	1	ウーウー 緊急音(770Hz-1.2kHz)
24	1	1	0	0	0	ルルルル 電話音(740Hz-910Hz)
25	1	1	0	0	1	ウー！ウー！ 消防音 (770Hz-1.11kHz)
26	1	1	0	1	0	ピーッピーッ 警告音 (500Hz-1.11kHz)
27	1	1	0	1	1	ピッピッ 警告音 (940Hz-2.19kHz)
28	1	1	1	0	0	ブーブー ゆっくりの後音強調 (680Hz-840Hz)
29	1	1	1	0	1	ウワンウワン 警告音(420Hz-470Hz)
30	1	1	1	1	0	連続増加音 (150Hz-1kHz)

※ テーブルスイッチは端子台結線方法を説明するため、仮想表記しております。製品にスイッチはありません。

音色タイプと組み合わせ

■ ビット入力-外付け音源(SDカード)使用

- SDカード保存の外付け音源のビット入力は使用者保存5音から1音を選択再生します。
- 端子台利用チャンネル選択方法はPage 5「背面端子台を利用するビット/バイナリー入力方式」をご参考ください。
- 各音源の選択方法は下記ののテーブルをご参考ください。

ビット入力方式音源グループ構成						
No.	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	音源
	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	
0	0	0	0	0	0	出力音なし
1	1	0	0	0	0	使用者保存音1(01_xxx.mp3)
2	0	1	0	0	0	使用者保存音2(02_xxx.mp3)
3	0	0	1	0	0	使用者保存音3(03_xxx.mp3)
4	0	0	0	1	0	使用者保存音4(04_xxx.mp3)
5	0	0	0	0	1	使用者保存音5(05_xxx.mp3)

※ テーブルスイッチは端子台結線方法を説明するため、仮想表記しております。製品にスイッチはありません。

■ バイナリー入力-外付け音源(SDカード)使用

- SDカード保存の外付け音源のバイナリー入力は使用者保存音30音から1音を選択再生します。
- 端子台利用チャンネル選択方法はPage 5「背面端子台を利用するビット/バイナリー入力方式」をご参考ください。
- 各音源の選択方法は下記ののテーブルをご参考ください。
- ビット入力方式と選択方法が異なります。

バイナリー入力方式音源チャンネルの設定						
No.	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	音源
	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	ON(1) OFF(0)	
0	0	0	0	0	0	出力音なし
1	0	0	0	0	1	使用者保存音1(01_xxx.mp3)
2	0	0	0	1	0	使用者保存音2(02_xxx.mp3)
3	0	0	0	1	1	使用者保存音3(03_xxx.mp3)
4	0	0	1	0	0	使用者保存音4(04_xxx.mp3)
5	0	0	1	0	1	使用者保存音5(05_xxx.mp3)
6	0	0	1	1	0	使用者保存音6(06_xxx.mp3)
7	0	0	1	1	1	使用者保存音7(07_xxx.mp3)
8	0	1	0	0	0	使用者保存音8(08_xxx.mp3)
9	0	1	0	0	1	使用者保存音9(09_xxx.mp3)
10	0	1	0	1	0	使用者保存音10(10_xxx.mp3)
11	0	1	0	1	1	使用者保存音11(11_xxx.mp3)
12	0	1	1	0	0	使用者保存音12(12_xxx.mp3)
13	0	1	1	0	1	使用者保存音13(13_xxx.mp3)
14	0	1	1	1	0	使用者保存音14(14_xxx.mp3)
15	0	1	1	1	1	使用者保存音15(15_xxx.mp3)
16	1	0	0	0	0	使用者保存音16(16_xxx.mp3)
17	1	0	0	0	1	使用者保存音17(17_xxx.mp3)
18	1	0	0	1	0	使用者保存音18(18_xxx.mp3)
19	1	0	0	1	1	使用者保存音19(19_xxx.mp3)
20	1	0	1	0	0	使用者保存音20(20_xxx.mp3)
21	1	0	1	0	1	使用者保存音21(21_xxx.mp3)
22	1	0	1	1	0	使用者保存音22(22_xxx.mp3)
23	1	0	1	1	1	使用者保存音23(23_xxx.mp3)
24	1	1	0	0	0	使用者保存音24(24_xxx.mp3)
25	1	1	0	0	1	使用者保存音25(25_xxx.mp3)
26	1	1	0	1	0	使用者保存音26(26_xxx.mp3)
27	1	1	0	1	1	使用者保存音27(27_xxx.mp3)
28	1	1	1	0	0	使用者保存音28(28_xxx.mp3)
29	1	1	1	0	1	使用者保存音29(29_xxx.mp3)
30	1	1	1	1	0	使用者保存音30(30_xxx.mp3)

※ テーブルスイッチは端子台結線方法を説明するため、仮想表記しております。製品にスイッチはありません。

動作方法及び順次

内蔵音源使用時		外付け音源(SDカード)使用時	
ビット入力	バイナリー入力	ビット入力	バイナリー入力
内蔵30音を6つのグループに分類、各グループ5音から1音再生	内蔵30音から1音再生	使用者が5音入力して1音再生	使用者が30音入力して1音再生

■ ビット入力モードに内蔵音源を使用する場合

※ 順次

音色選択スイッチ設定 → プレイモード設定 → チャンネル選択

1. 音色選択スイッチから1番スイッチをOFF設定して内蔵音を選択します。
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください。
2. 音色選択スイッチ2、3、4番スイッチから6つのグループ中、一つのグループを選択します。
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください。
3. プレイモード設定スイッチを利用して1、3、5、7、8番中からモード一つを選択します。
- 8番は試験モードで1番チャンネルの音が連続再生されます。(この場合、チャンネル選択できません。)
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください。
4. チャンネル選択スイッチを利用して内蔵5音中から1音を選択します。
- 詳細はPage 6「ビット入力内蔵音源使用」をご参考ください。

■ バイナリー入力モードに内蔵音源を使用する場合

※ 順次

音色選択スイッチ設定 → プレイモード設定 → チャンネル選択

1. 音色選択スイッチから1番スイッチをOFF設定して内蔵音を選択します。
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください。
2. プレイモード設定スイッチを利用して2、4、6、8番からモード一つを選択します。
- 8番は試験モードで1番チャンネルの音が連続再生されます。(この場合、チャンネル選択できません。)
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください。
3. チャンネル選択スイッチを利用して内蔵音30音から1音を選択します。
- 詳細はPage 6「バイナリー入力内蔵音源使用」をご参考ください。

■ ビット入力モードで外付け音源(SDカード)を使用する場合

※ 順次

SDカード挿入 → 音色選択スイッチ設定 → プレイモード設定 → チャンネル選択

1. SDカードにMP3ファイルの音源を入力する方法はPage 5「SDカード選定と音源ファイルの保存」をご参考ください。
- 音源は5種類まで認識します。
2. SDカードを製品内部SDカードスロットに挿入します。
3. 音色選択スイッチから1番スイッチをONに設定し、外付け音源を選択します。
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください
4. プレイモード設定スイッチを利用して1、3、5、7、8番中からモード一つを選択します。
- 8番は試験モードで1番チャンネル音が連続再生されます。この場合、チャンネル選択できません。
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください。
5. チャンネル選択は製品背面端子台を利用して内蔵5音中から1音を選択します。
- 詳細はPage 7「ビット入力外付け音源(SDカード使用)使用」をご参考ください。

■ バイナリー入力モードで外付け音源(SDカード)を使用する場合

※ 順次

SDカード挿入 → 音色選択スイッチ設定 → プレイモード設定 → チャンネル選択

1. SDカードにMP3ファイルの音源を入力する方法はPage 5「SDカード選定と音源ファイルの保存」をご参考ください。
- 音源は30種類まで認識します。
2. SDカードを製品内部SDカードスロットに挿入します。
3. 音色選択スイッチから1番スイッチをONに設定し、外付け音源を選択します。
4. プレイモード設定スイッチを利用して2、4、6、8番からモード一つを選択します。
- 8番は試験モードで1番チャンネル音が連続再生されます。この場合、チャンネル選択できません。
- 詳細はPage 4「音色設定」をご参考ください。
5. チャンネル選択スイッチを利用して内蔵音30音から1音を選択します。
- 詳細はPage 7「バイナリー入力外付け音源(SDカード使用)使用」をご参考ください。

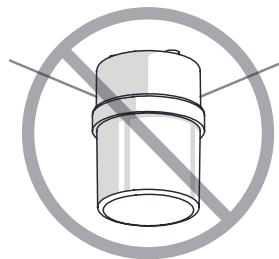
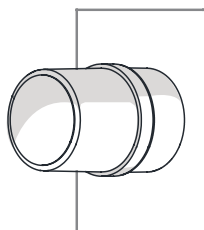
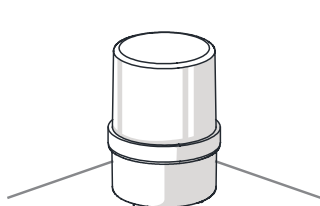
製品設置方向

■ 製品設置時に正しくない方向に設置すると、製品内部に雨水や水分が流入することがあります。設置方向に合わせて設置してください。

・警告灯/表示灯

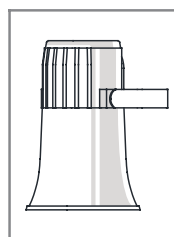
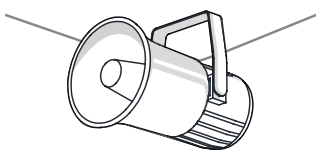
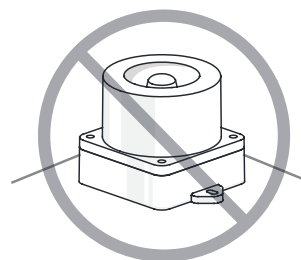
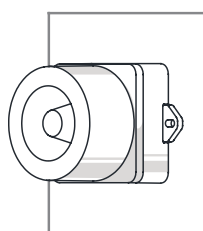
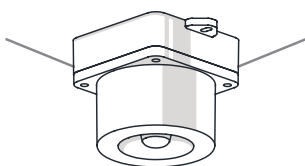
※ 防水等級がIPX4未満の製品は地面と垂直方向に設置してください。

電源線引き出し部が空に向けて設置しないでください。



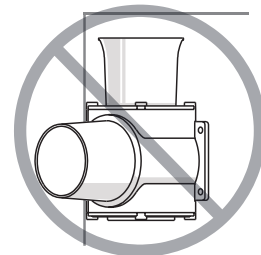
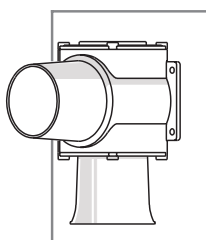
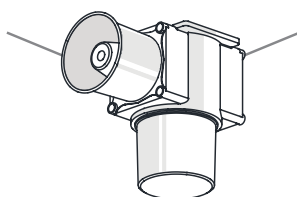
・電子ホーン/フォン

ホーン部が空に向けて設置しないでください。



・船舶/重負荷/重装備&防爆製品

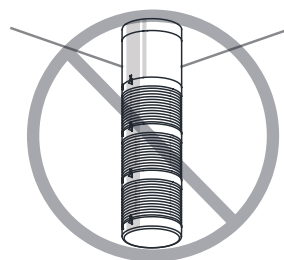
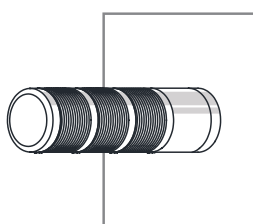
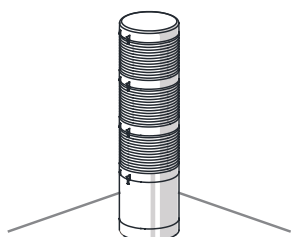
ホーン部が空に向けて設置しないでください。



・タワーランプ

※ 防水等級がIPX4未満の製品は地面と垂直方向に設置してください。

電源線引き出し部が空に向けて設置しないでください。





使用時注意事項

本カタログに収録されている製品外形及び規格は、品質改善のため、変更する場合があります。
最新製品情報は、本社ホームページ(www.qlight.com)でご案内しています。
設置及びご使用前には必ず、製品の取扱説明書をよくお読みください。

韓国法人(株)キューライト Qlight Co.,Ltd. www.qlight.com | trade@qlight.com

本社 | ソウル市衿川区加山デジタル1路128 STXVタワー1510号 Tel.+82-2-2679-6152 (コレクトコール : +82-80-328-2222)

工場 | 慶尚南道金海市上洞面 墨方路185-25 Tel.+82-55-328-1111 (コレクトコール : +82-80-328-1111)

海外営業事務所 | 釜山広域市沙上区洛東通り704 キューライトビル Tel.+82-51-620-4100

釜山本部 | 釜山広域市沙上区洛東通り704 キューライトビル Tel.+82-51-245-0017

中国現地法人 www.qlight.com www.qlightcn.com | qlightcn@qlight.com

中国法人(上海) | 上海市 宝山区 真大路 450弄 11号 B幢 333室 Tel. +86-21-6651-7100 Fax.+86-21-6315-3929

中国工場(启东) | 江苏省启东市高新技术产业开发区海燕路33号 Tel. +86-513-8384-9999 Fax. +86-513-8384-9910

Qlightec

Innovation in Alarm & Signal

Product Operation Inquiry / Customer Support +82-51-620-4100

You can expect prompt service if you have exact information such as model name, symptom, telephone number and address.

※ALL PRODUCT, PRODUCT SPECIFICATIONS AND DATA ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE TO IMPROVE RELIABILITY, FUNCTION OR DESIGN OR OTHERWISE.

Head office : 1510, 15F, 128, Gasan digital 1-Ro, Geumcheon-Gu, Seoul, Korea (Postal Code : 08507)

Factory : 185-25, Mukbang-Ro, Sangdong-Myeon, Gimhae-Si, Gyeongsangnam-Do, Korea (Postal Code : 50805)

www.qlight.com

JP - SMP35 - 2412A